

















(様式第3号)

企業・団体名(株式会社コバコン)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			就業規則に記載し、性別、年齢、障がいなどにより差別を行わないことについて周知し、実際に差別がないことについて、経営者が確認している。						5.1 5.2 5.5													16.1 16.2 16.7		
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメントに関する文書を別冊として作成し、幹部を中心に研修を実施している。相談窓口を設置し相談しやすい体制を整備している。						5.1 5.2 5.5												16.1			
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			残業は申告制にしている。長時間労働の見られる社員には、個別に声掛けを行うなどの取組を実施している。業務分担の工夫を実施している。																					
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【非該当】		外国人労働者は現状は採用していない。					4.4								8.7 8.8		10.2 10.3						
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			労働安全衛生に関する方針を就業規則に記載している。車の運転に関し、毎年ビデオ研修を実施し意識向上を図っている。KY活動に取り組んでいる。				3										8							
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			コミュニケーションの研修会や、懇親会などを実施することで、風通しのよい職場づくりに取り組んでいる。				3																	
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			女性技術者の増加に取り組んでいる。建物はバリアフリーとし、障がい者用トイレ、駐車場を設置。制度面では、産休、育休、介護休暇を制定している。男性の育児取得も推奨。						5.1 5.5							8.5		10.2 10.3						
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			業界研修には積極的に参加させている。資格取得には会社による費用負担を実施。社内で表彰制度を設け、社員のモチベーションアップに取り組んでいる。					4	5.5								8	9						
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			雇用形態の異なる社員は、現状はないが、雇用形態が異なる場合でも正社員同様の待遇とすることとしている。						5.5								8.5		10.2 10.3					
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			健康診断は毎年実施し、所見のある社員には再受診を促す等の取組を実施。市の健康講座を活用して、社員の健康意識の向上に取り組んでいる。					3										8						
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			事業者から排出される廃棄物は分別廃棄を徹底している。																	11.6 12.4		14.1		
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本		【予定】	自社のエネルギー使用量について、今後記録を開始し削減に取り組んでいく。														7.3				13			
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			【予定】	今後、温室効果ガスの排出量を把握に取り組んでいく。														7.2 7.3				12.4 13.3		
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	【非該当】		有害化学物質を使用する場面は発生しない。				3.9															11.6 12.4		

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																									
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	チャレンジ			工事設計の際には、地域の生態系が崩れないよう配慮して設計を実施している。						6.6								15						
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			事務所で使用する紙は、できる範囲で裏紙を使用し、資源の有効活用に努めている。													12.5	14.1						
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			散水の際には、井戸水を活用している。						6.4 6.6														
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ							3.9		6	7							12	13.3	14	15			
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ																		12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ				太陽光発電を導入している。						7.2								13					
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ																		12.2	13	14	15		
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本		【予定】	今後、方針を掲げて取組んでいく																16 16.5				
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本		【予定】	今後、方針を掲げて取組んでいく																	16			
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本				取引先ごと 契約時に秘密保持契約等を結んでいる。							8.2 8.3	9											
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本				方針を就業規則に記載。入社時に契約書を通じて周知をしている。																16			
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																				16			
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ								5				8		10				12	13	14	15	16	17
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			【予定】	今後、宣言を作成し公表する。				3					8	9	10							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格

※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定